



ご家族の皆さまへ



つうがくろ あんぜん MAP キットは、お子さまとご家族の皆さまが通学路の交通安全について話しあっていたための資料です。MAPを作り、お子さまと学校に通う時間、曜日に通学路を歩きながら、交通量や危険な場所はないかなどを一緒に確認しましょう。

作成にあたってのポイント

家から学校までの簡単なMAPが書き終わったら
通学路をお子さまと一緒に歩きましょう。

危険な場所では

- ① お子さまの目の高さになって確かめましょう。
- ② きけんマークのシールを貼り、「何が」「どのように」危ないのか具体的に記入しましょう。
- ③ 写真を撮って確認しましょう。

MAPが出来上がったら
お子さまと
繰り返し、見返しましょう。



通学路の「危険な場所」「気をつけること」を確認するためのシール

「交通ルールをお子さまに伝える前に、知っておきたい子どもの行動特性」を参考にお子さまと確認しながら活用してください。



きけんマーク

危険と感じる場所や気をつける場所に貼るシール。フリーテキストシールと一緒に貼り、具体的に伝えましょう。



止まれ標識

標識がある場所や見通しが悪く止まる必要がある場所に貼るシール。「なぜ止まらないといけないのか」を伝えましょう。



フリーテキスト

枠内に「何が」「どのように」危ないのかなどを具体的に記入して貼りましょう。



踏切マーク

踏切を渡る時は、手前で必ず立ち止まり「目と耳で周囲の安全を確かめてから渡る」「警報機が鳴ったら絶対に渡り始めてはいけない」ことを伝えましょう。



駐車場マーク

「運転席から子どもが見えない(死角)ため、自動車の近くで遊んだり、走ったりしてはいけない」ことを伝えましょう。

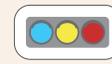


おやくそくマーク

特に守って欲しい通学路のおやくそくとしてフリーテキストシールなどと一緒に貼りましょう。



歩行者用信号機



信号機

大きな交差点や横断歩道に貼るシール。「青信号でもかならず左右をよく見て、車などが来ていないか確かめる」「黄信号や、青信号がチカチカしていたら渡り始めてはいけない」ことを伝えましょう。

交通ルールをお子さまに伝える前に、知っておきたい子どもの行動特性

子どもの行動特性を保護者が十分に理解したうえで、安全指導することが大切です。また、お子さまには注意すべきことを具体的に教えましょう。

1つのものに注意が向くとまわりの状況が目に入らなくなる

子どもは自分の興味があるものを見つけると、そこだけに集中してしまう特性があります。周りをよく見てから行動するように伝えましょう。

大人のまねをする

子どもは大人の行動をよく見えています。大人が交通ルールやマナーを守り、手本を示しましょう。

状況を予測し、判断する力が十分に備っていない

子どもにとって周囲の状況から危険を予測し、安全な行動を判断するのは難しいことです。見通しの悪い交差点など、危険な箇所を確認し、どのように危ないか一緒に考えましょう。

抽象的な言葉だけでは理解が難しい

子どもに「危ないよ」と伝えるだけでは、何が危険なのか伝わりません。何に注意をして、どう行動をすれば安全かを具体的に教えましょう。

物のかげで遊ぶ傾向がある

子どもは、駐車車両のかげなどでしゃがみこんで遊んだり、急に飛び出すことがあります。ドライバーから見えにくく、危険なことを伝えましょう。

一緒につくろう！

つうがくろ あんぜんMAP

https://social.ja-kyosai.or.jp/anzen_map/

たのしそう
だね！



いって
みよう！



「つうがくろ あんぜんMAP」の作り方はWEBで公開中！

「つうがくろ あんぜんMAP」「こうつう あんぜん すごろく」のデータがダウンロードできます。

この資料は、自賠責共済の運用益を活用して制作しています。

監修：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会



JA共済は、保障の提供と地域貢献活動を通じて、地域社会の「安心」と「満足」の輪を広げていきます。